

目標や夢を大きく持つて

成人式



大人の仲間入りをした町内611人の門出を祝い、1月8日に大網白里アリーナで成人式が開催されました。

式典には、あでやかな晴れ着やスーツなどで着飾った480人の新成人のほか、多くの来賓や中学校時代の恩師が参列。それぞれから励ましの温かいお祝いの言葉が贈られました。また、新成人を代表して、齋藤美奈さんと八角真衣さんの2人が式典挙行の感謝とともに二十歳の決意を披露。「厳しい時代を、目標や夢を大きく持つて、戦い抜いていきたいと思います」と語られると、会場からは大きな拍手が起こりました。

式典終了後には、実行委員会が企画をした中学時代の写真のスライドショーと恩師から

らのビデオレターを映写するイベントを開催。映し出された懐かしい映像を見ながら、出席者は思い出話に華を咲かせ、友と過ごしたこれまでの学校生活を忘れぬよう、心に刻みこんでいきました。

◆平成25年成人式の実行委員を募集

来年1月に実施される成人式の企画・運営に参加してくれる新成人を募集します。

▼対象▶平成4年4月2日〜平成5年4月1日生まれで本町の成人式に参加予定の方

▼内容▶成人式のイベントの企画・式典当日の運営

※会議は年5回程度、土日に開催

☎(70)0380
関生涯学習課生涯学習班

継続した取り組みに栄冠

瑞穂小学校



▲連続馬跳びを披露する児童

瑞穂小学校が、県教育委員会のいきいきちばっ子コンテスト「遊・友スポーツランキングちば」の中期大賞に輝き、12月19日に授与式が行われました。

このランキングは、休み時間などを利用して児童が「ボールパスラリー」など7種目

に取り組み、その成績や記録の申請回数を競うものです。

瑞穂小学校は、県内146校中、最も多い1,498回の記録を申請。継続した取り組みがたたえられ、昨年の後期から3回連続での受賞となりました。

表彰状を手渡した、県の岡靖教育次長は「一人一人が運動を継続してきた結果。これからも仲間と協力して取り組んでほしい」とたたえました。

授与式後には、昨年の千葉国体で優勝した、バスケットボールチーム「チームちば」のメンバーと児童が、フリースローやミニゲームで対決。交流を深めました。

なお、今回の中期大賞で、記録申し込み数の4位に増穂北小学校、5位に季美の森小学校もランクインしています。

技術と経験を伝えていく

小松秀世さん

シニア海外ボランティアは、発展途上国からの技術援助の要請に応えるため、幅広い技術・豊かな経験を有するシニア世代の方が、ボランティア精神に基づき、途上国の発展に貢献する事業です。

小松秀世さん(大網)は、平成13年に定年退職後、シニアボランティア活動に毎年参加し、地下水の開発など、途上国の発展に貢献してきました。



今回赴任するのは、エチオピアのアディスアベバ市で、断水が頻発している地域も多いことから、安定した水道水の供給ができるよう支援することが目的。

12月13日に、町役場を訪問した小松さんは「もう終わりにしようかと思っていたが、今回の震災で世界各国から応援してもらった。こんなわたしでも、何かできればと思い応募した」と、金坂町長に出発前の意気込みを語ってくれました。

作家との対話を大きな力に

三橋朋子さん

高校2年生の三橋朋子さん(四天木甲)が、「第57回青少年読書感想文千葉県コンクール」で、24万点の中から高校生の最高の賞となる県教育長賞を受賞しました。

受賞作品のサガン作『悲しみよこんにちは』を読んで、審査員から「同作が、『悲しみ』や若さの持つ『凶暴さと美しさ』、同時に『愚かさ』を併せ持つという指摘が秀逸で、等身大の自分をストレートに表現している」と絶賛されました。



三橋さんは、表彰式で「よい本と出会うことは、よい友だちと出会うことと同じで、一冊一冊が宝物である」、「文章には作家の心が宿っている」、「文章を通して作家と対話し、自分の意見を持つこと、それがこれからの生きる自分の大きな力になる」と受賞者代表としてあいさつし、喝采を浴びました。

三橋さんの作品は、千葉県代表として全国コンクールに推薦されました。

活気あふれる商店街に

つまみぐいウォーク・まちサポまつり



年末の商店街を活気付けるイベント、「つまみぐいウォーク」と「まちサポまつり」が、12月23日に開催されました。

「つまみぐいウォーク」は大網地区周辺の商店街の活気を取り戻したいとの思いから実施さ



▲まちづくりサポートセンター前でのもちつき

れ、今回が2回目。参加者が、ガイドの説明を受けながら、協力店22店舗を訪問し、各商店で用意されたお菓子などをつまみながら、町の魅力を知ろうというもの。

終了後には参加協力店で使える商品券などが当たる抽選会もあり、参加者からは「町の魅力を再発見できた」との声も聞かれました。

「まちサポまつり」では、まちづくりサポートセンター登録団体の手作り商品を販売。買い物客は個性あふれる商品を、一つ一つ手にとって選んでいました。サポートセンターの外では、もちつき大会があり、きねと臼でついた、つきたてのおもちをほお張りながら、買い物を楽しむ人の姿も見られました。

▶出発前に説明をするつまみぐいウォーク実行委員